

## 2023年度亀田医療大学2年次後期開講科目高齢者看護学概論について

(連携組織)

鴨川市福祉相談センター

(実施学部・学科)

亀田医療大学看護学部看護学科

(授業概要)

高齢者の健康増進やQOL (Quality Of Life) の向上についての学問的追求と知識の向上を図ることは、長寿社会を迎えた日本、特に高齢化率の高い南房総地区においては重要な課題である。このコースは、高齢者を身体・生理的側面、ライフステージ、社会的な側面から理解し、適切な看護を実践するための理論と技術を学ぶ。

(開講目的)

◆2023年度シラバスにて記載

(目的)

高齢者看護学の基礎的理解のために、高齢者の理解を深め、高齢者にとっての健康とは何か、幸せとは何かについて考える。そのうえで高齢者の希望や生きがい、健康レベルに応じた看護実践に求められる基礎的な知識と技術と態度を習得する。

1. 高齢者を取り巻く社会状況や保健医療制度について説明できる。
2. 高齢者の発達課題や健康について自分の考えを述べることができる。
3. 高齢者の加齢に伴う身体的、心理的、社会的特徴について説明できる。
4. 高齢者が保持している能力を活用しながら看護を展開する必要性と、その方法について説明できる。
5. 身体・精神機能の加齢変化を理解し、予防的視点から高齢者看護について説明できる。
6. 高齢者看護に応用される理論について述べることができる。
7. 高齢者看護領域における倫理的問題について説明できる。
8. 老いることについて自らの考えを述べることができる。

(具体的な内容)

◆2023年度シラバス授業計画〔13〕〔14〕

鴨川市のソーシャルワーカーによる講義「高齢者の権利擁護と倫理的課題」と、市職員・介護職員・本学学生が協働で演じる高齢者虐待事例の寸劇を鑑賞させ、高齢者における倫理的課題や虐待防止の意見を踏まえたレポートを学生より鴨川市へ提出している。

(地域における課題)

鴨川市及び安房郡市における(終末期)高齢者の増加はMCIの発症、IADLの低下の要因であり、そのために必要な看護支援やQOLの理解が求められる。